令和６年度　第４回秋葉警察署協議会議事概要

開催日時	令和７年２月20日（木）午後３時05分から午後５時00分まで		
開催場所	秋葉警察署２階講堂		
出席者	委員（定数７人）	大澤会長　又地副会長　今里委員　川名委員 髙橋（健）委員　髙橋（穣）委員　田村委員 （会長・副会長以下50音順）	計７人
	警察	吉岡署長　菅原副署長　太田会計課長 関根生活安全課長　川上地域課長、 五十嵐刑事課長　交通係長、瀬下警備課長 警務課長	計９人

管内の治安情勢

署長から、令和６年中の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

重点事項に対する業務推進状況

署長等から、前回答申した重点推進項目の取組状況について、下記のとおり説明があった。

１　特殊詐欺及びＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺被害防止対策の強化

（１）公的年金支給日に管内金融機関において広報活動を実施

（２）管内公務所におけるＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺被害防止方策に関する講話の実施

（３）地元ラジオ番組を活用した「オレオレ詐欺」に対する防犯広報の実施

２　年末年始における犯罪被害防止活動の強化

（１）年末における県民生活の安全安心確保活動の強化期間の初日に「年末特別警戒」出発式を実施し、金融機関等に対する警戒の実施

（２）管内金融機関における模擬強盗訓練・防犯訓練の実施

３　冬の交通事故防止対策及び「横断歩行者ＳＬ作戦」の強化による歩行者保護対策

（１）「冬の交通禍防止運動」の実施

ア　管内商業施設における交通事故防止広報の実施

イ　管内飲食店を訪問し飲酒運転根絶の呼び掛けを実施

ウ　「横断歩行者を守ります宣言企業」と連携して園児に対し啓発グッズを配布する等の交通安全教室を実施

エ　管内交通事故多発路線である国道403号における歳末特別警戒の実施

2　歩行者保護対策の推進、行楽期等の交通事故防止対策

（1）「秋の全国交通安全運動」の実施

ア　管内こども園の園児を「ちびっ子１日お巡りさん」に委嘱し、秋葉区のイメージキャラクターとともに当署が推進している「横断歩道ＳＬ作戦宣言」を行った後、管内大型店舗において啓発品を配布しながら交通事故防止を呼び掛けた。

（2）地元イベントにおける交通事故防止広報の実施

地元のイベントに警察ブースを出展し、危険予防シミュレーターを使用して道路における危険性、交通安全の重要性を訴えた。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1　特殊詐欺被害及びＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺防止対策の強化

2　春（新入学期）の交通事故防止対策

答申

質疑の後、秋葉警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

意見・要望・質疑等（〇は署長等の説明）

1　カーブでセンターラインをはみ出してきた車を避けて側溝に落ち、車が壊れ軽傷を負った者がいた。ドライブレコーダーの装着はなく、目撃者もいなかった。こういった場合どのように対応すべきであったか。

○　道路の交通によって起こされた事故で人の死傷、物の損壊があった場合は交通事故となりますので警察へ届け出てください。事故の状況によっては、単独の事故として認定するか、センターラインをはみ出した車が関係した双方の事故として認定することとなります。

２　冬山での遭難事故が発生しているようだが、ヘリが出動した場合の費用は誰が負担するのですか。

○　県警のヘリが出動した場合の費用は公費となりますので、遭難者等が負担することはありません。

３　降雪時の交通事故の現場で警察官が白い色の服装だと、積雪等の背景に紛れて視認性が悪いのではないかと感じるときがあります。

○　今後の警察活動の参考とさせていただきます。

度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。